



せきだ

議会だより

特別号





明日のふるさと「山田」を考える

令和4年1月18日に、岩手県立山田高等学校3年生による「ふるさと探究高校生議会」が山田町議会議場にて開催されました。この取り組みは、平成31年から始まり、今回で4回目を迎えました。

山田高校は、総合的な探究の時間「ふるさと探究」において、地域の課題発見・解決に向けて、人々との対話を通じた探究活動に取り組んでいます。この活動で得た成果をもとにして、山田町の在り方に対する生徒自らの考えや意見を表明する場を設けることにより、町の復興や発展を願い、主体的に関わるための知識や態度を身につけ、主権者としての社会参画意識を高めることを目的とし、ふるさと探究高校生議会を開催しています。

今回の特別号では、高校生議会に向けた取り組みや、生徒の皆さんが議員となり町政へどのような質問・提言をしたのかなど紹介します。



堂々と質問する山田高校生の皆さん

高校生議会へのあゆみ

生徒の皆さんが高校生議会に向けてどのように調査し、活動してきたのか紹介します。

グループごとに設定したテーマのもと、フィールドワークもを行い、課題の解決に向けた方策を生徒が主体となって探究します。



調査先でのインタビュー

調べる



山田町職員とのワークショップ

議会を傍聴して

町の現実を知ることができた

傍聴することで、町の現実を知ることができました。私たちは普段何気なく過ごしているけれど、実はこんなに課題があったことに驚きました。



ばば まつり
馬場 祭里さん

考える

各グループに分かれ、町の課題を見出し、その解決に向けた過程を考える。

調べる

校外調査で、インタビューやアンケート、実地検証を行い、町の現状を確認。

対話する

町行政の第一線で活躍する山田町職員とのワークショップで、町の課題の解決策を探る。

見る

山田町議会定例会を傍聴し、議員と執行部との質疑応答を見て、町の方向性が決する場である議会のしくみを学ぶ。

考える

山田町長の施政方針を読み込み、町の現状と今後の展望を学びます。また、地域から多彩な社会人講師を招き、対話と学びを深めます。



社会人講師による特別授業

議会を傍聴して

未来を考え町の声を聞いている



やまざき さくら
山崎 咲蘭さん

議員さんの提案は、細かく事柄が調査されていて、未来のことまで考えて町の声を聞いてくれていると感じました。

町を深く考えていることが伝わってきた

議員の方々や役場の方々が、山田町の隅々まで把握し、山田町のことを深く考えていることが伝わってきました。



ほりあい じゅんな
堀合 純奈さん

グループで再検討

高校生議会へ

8つのグループからそれぞれ議員役1名、補佐役1名を決め、町政について質問しました。質問内容は次のページです。

子ども・健康
グループ



質問者（議員）
ささき かのん
佐々木 海音さん



質問者（補佐人）
ながね りな
長根 凌菜さん

問

減塩に向けた今後の取り組みは

答

塩分量を確認できる取り組みを実施

問 町民の塩分摂取量が高い値となっているが、小学校で減塩教室を実施したり、各家庭に塩分計を配布したりして、減塩に向けた取り組みを行うてはどうか。

佐藤町長 減塩教室については、小・中・高校生を対象に食育出前講座を年1回開催し、減塩食の調理体験などを実施している。本町では、塩魚や漬物等からの塩分摂取が課題となっておりことから、主に汁物対応である塩分計を各家庭に配布する考えはないが、広報やホームページに毎月掲載している減塩料理に塩分量を表示するなど、自宅でも塩分量を確認できる取り組みをしていく。

その他の質問

◆子どもたちの運動不足の解消のためクラウドファンディングを利用し、廃校舎を室内運動場としては。



子ども・健康グループの皆さん

塩分の過剰摂取による肥満率・死亡率の増加に歯止めをかけ、町民の健康を少しでも改善してほしいです。

教育・文化
グループ



質問者（議員）
おおくぼ かれん
大久保 花連さん



質問者（補佐人）
くらもと だいき
倉本 大輝さん

問

山田高校にも給食を提供しては

答

将来的な提供に向けて検討していく

問 学校給食センターの提供可能数及び現在の実提供数は。

佐々木教育長 最大供給能力は1日当たり千食となっている。実際の提供数は学校行事等により変動はあるが、最大で1日当たり990食を提供している。

問 山田高校にも給食を提供できれば、保護者負担が軽減されると考えるがどうか。

教育長 供給能力のほぼ上限に近い状況であるため、これ以上食数を増やすことは難しい状況。今後、供給可能食数を見ながら、山田高校の意向を踏まえて、将来的な提供に向けて検討していく。

その他の質問

◆スクールサポートスタッフを配置しては。
◆出前授業などで町女性職員の活躍を紹介し、女性の町職員応募者を増やしては。
◆山田高校の支援に補助基準の弾力化を。



教育・文化グループの皆さん

給食提供で保護者の負担を軽減し、山田町の誇りである山田高校の生徒数減少に歯止めをかけたいと思質問しました。

防災・減災
グループ



質問者（議員）
くろさわ こうた
黒沢 航汰さん



質問者（補佐人）
ささき らみ
佐々木 良実さん

問 小中高校と町で避難訓練を開催しては

答 連携なども視野に入れていく

問 防災訓練の参加者が少ないように感じる。直近の町の防災訓練では、何名の参加者があったか。

佐藤町長 3年度の防災訓練の参加者数は、320人であり、防災訓練の参加者数は年々減少し、ここ数年は300人前後で推移している。

問 より多くの町民が参加しやすい時間帯に、事業所とも協働して行うことで、防災訓練の参加者を増やせるのではないか。また、町内の小中学校・高校と町が連携して避難訓練を開催しては。

町長 今後は、他市町村の取り組みをさらに研究し、事業所との協働や町内の小中学校・高校との連携なども視野に入れ、より多くの町民の参加のもと、避難訓練を実施できるよう改善に努めていく。

その他の質問

◆地区ごとの詳細なハザードマップを整備し、町内各所に設置しては。



防災・減災グループの皆さん

次に災害が発生した場合、人的被害を最小限に抑えるためには、日頃の訓練が大切だと思い、この質問をしました。

災害伝承
(碑の記憶)
グループ



質問者（議員）
はりう ゆうき
針生 優輝さん



質問者（補佐人）
やまぎさ あすか
山崎 飛鳥さん

問 災害の教訓を刻んだ石碑の周知を

答 パンフレットなどで紹介する

問 町には災害の教訓を刻んだ石碑が点在しているが、人々にあまり知られていない。そこで、パンフレットや防災減災ツアーなどを通じて町内外に周知してはどうか。

佐藤町長 町内に存在する石碑等は、先人が後世の私たちに震災の記憶や教訓として示したもので、次世代に継承していかねければならないと考えている。町内に点在する自然災害伝承碑などの紹介は、新たにパンフレットを作成する方向で検討し、町ホームページ上でも情報提供していきたい。石碑や碑文をめぐるツアーの実施は、今後計画している「歴史講座」の実施の中で取り組んでいく。

その他の質問

◆石碑の碑文を読みやすくするために、田の浜地区にある石碑のようにパネル表示にできないか。



災害伝承（碑の記憶）グループの皆さん

石碑に刻まれている教訓を風化させないよう、町内外問わず多くの人に伝えていきたいです。

福祉
グループ



質問者（議員）
ささき まみ
佐々木 真海さん



質問者（補佐人）
かとう みさき
加藤 未沙希さん

問

なかよし公園のバリアフリー化を

答

改良しながら利便性向上を図る

問 高齢者が運動する機会を増やし、健康寿命の延長や介護予防につなげるため、高齢者が安心して体を動かせる公園が必要と考える。なかよし公園のバリアフリー化の計画はないか。

佐藤町長 公園は利用者の健康増進や憩いの場となる公共施設であり、段差の解消など利用者に配慮した形での整備が求められている。なかよし公園は、震災後に多機能型トイレへの建て替えや高低差のある通路を両側手すり付きのスロープに改修したほか、公園西側出入り口の段差も解消し、公園施設の改善を行ってきた。今後も改良を加えながら施設の利便性の向上を図る。

その他の質問

◆介護施設の介護士の配置数を町はどう認識しているか。

◆介護士不足解消のため「介護士応援給付金」を設けては。



福祉グループの皆さん

町内を調査し、介護職員や役場の方々からお話を聞いて、福祉の在り方をいっそう考えるようになりました。

税務・人口減少
グループ



質問者（議員）
さとう しいな
佐藤 想さん



質問者（補佐人）
まえやま るい
前山 瑠衣さん

問

返礼品で山田の魅力発信を

答

柔軟な発想で取り組む

問 ふるさと納税の返礼品に、体験活動のチケットを加え、山田の魅力をまるごと味わえるような企画を立ててはどうか。

佐藤町長 体験観光のチケットは、「養殖いかだ見学クルーズ」と「オランダ島上陸クルーズ」の2品目がある。既に「かき小屋お食事券」も返礼品として登録しており、現在これらを組み合わせ新たな返礼品を検討している。提案いただいた山田の魅力をまるごと味わえるような企画は、交流人口の拡大への効果も期待できることから、本町に足を運んでもらうことを意識した返礼品の充実に向け、引き続き柔軟な発想で取り組んでいく。

その他の質問

◆Uターンの若者を増やすための取り組みは。

◆山田町学生応援住宅急便を学生のほか、すべての20代に発送し町の良さを再認識する機会としては。



税務・人口減少グループの皆さん

ふるさと納税を通して山田の魅力を発信し、知名度向上や観光客増加につなげ活気ある山田にしたいと思い質問しました。

農林・水産・観光
グループ



質問者（議員）
のぎき
野崎 みずきさん



質問者（補佐人）
ふくし ほるか
福士 春佳さん

問

トラウトサーモンのブランド化は

答

漁協と連携して研究したい

問 本町でトラウトサーモンの養殖が始まっているということだが、近隣自治体では既に行われていている。他の自治体との差別化を図るための、ブランド化などの取り組みは考えているか。

佐藤町長 地域経済を支えてきた主要魚種の秋サケは、近年、深刻な不漁が続いている。国内ではサケ・マス類の海面養殖が進められており、本町も本年度から、三陸やまだ漁協がトラウトサーモンの試験養殖に着手した。新たな特産品として売り出すためには、他産地との差別化を図ることが重要であることから、三陸やまだ漁協と連携し研究していきたい。

その他の質問

- ◆新・道の駅を拠点にSNSを活用した特産品のスタンプリリーなどを企画し、町内に人を呼び込んで。
- ◆農林業の担い手を育成・支援する取り組みは。

山田町の自慢である水産業をもっと発展させたいという願いを込めて質問をしました。



農林・水産・観光グループの皆さん

都市計画
グループ



質問者（議員）
うえざわ ともゆき
上澤 知征さん



質問者（補佐人）
はが りょうま
芳賀 亮海さん

問

廃校舎を体験型施設にしては

答

民間等の意向があれば調整を図る

問 町内には廃校舎は7つあるということだが、椎茸など山の幸を栽培し、施設の見学や収穫体験、実食などを行える体験型施設にしてはどうか。

佐藤町長 廃校舎の利用計画については、維持経費削減や施設の老朽化等の観点から、民間等への譲渡または解体、既存の老朽化した公共施設の機能移転や地域自治会等での活用、災害時の避難所としての利用などを基本方針としている。提案された体験型施設としての活用については、民間等での活用意向がある場合には、相談・調整を図る考えである。

その他の質問

- ◆国道沿いの空き地にスケートボードパークを設け集客を図っては。

学校の統廃合が進むと地域の活気がなくなる。それなら廃校舎を活用し、集客を図れないかと思い質問しました。



都市計画グループの皆さん

高校生議会議会をふりかえって

将来、町の活性化に携わりたい

質問・再質問に対する答弁から、役場の方々が山田町をどのような町にしていきたいのかを知ることができました。将来は私も山田町の活性化に携わりたいと思いました。貴重な経験をありがとうございました。



ばば かんた
馬場 莞大さん

政治や町に関心を持つことができた

高校生議会議会を通して、私たち高校生が提案した意見が山田町に反映され、より良い町づくりへの第一歩になってくれればよいと思っています。この学習で、政治や町に関心を持つことができたので、よい機会になりました。



ふじわら なち
藤原 奈知さん

町の力になる提案ができた

傍聴者として議会議会に参加し、山田町がどういった課題を抱え、それに対しどう向き合っているのかが分かりました。町の復興に向け今もなお取り組みを続けている山田町の力になる提案をすることができたと思います。



きつかわ なな
吉川 奈々さん

私たちの意見が町の発展に貢献できれば

今回の高校生議会議会に参加したことで、佐藤町長をはじめ多くの方が高校生の意見を真摯に受けとめてくださっていることを実感しました。私たちの意見が山田町のさらなる発展に貢献できればいいなと思いました。



あべ ふみね
阿部 歩心音さん

身についた力で町に貢献していきたい

高校生議会議会を通し、町の課題を発見・提言し、より良い町づくりに参加することができる貴重な時間でした。今回身に付けた問題に対する考え方・行動力を生かし、山田町の一人として町に貢献できるように頑張りたいです。



ながね りな
長根 凌菜さん

町の課題と向き合いさらに魅力ある町へ

高校生議会議会を経て、私たちの郷土である山田町をより良い町にするために問題意識を持ち、それを発信することの大切さを学びました。これから山田町を担っていく若者として、町の課題と向き合いながら、さらに魅力ある町にしていきたいと思っています。



さつき まみ
佐々木 真海さん

生徒代表あいさつ

高校生議会議会では、山田町をさらに素敵な町にしようという強い思いで、それぞれのグループが課題に対し真剣に向き合い、議論をすることができました。

質問の作成にあたり、ワークショップや校外調査を通して町職員や地域の方々に実際にお話を聞くことで、様々な視点から山田町を見つめ直すことができたとともに、自分たちだけでは気付かなかった町の課題や現状を知ることができました。

いつまでも私たちの故郷である山田町を思いながら、できること、すべきことを見つけて積極的に行動をしていきます。私たちのために貴重な機会をいただき、ありがとうございました。



おおくぼ かれん
大久保 花連さん

◆発行責任者

議長 昆 暉 雄

◆議会議会広報編集特別委員会

委員長 菊 地 光 明
副委員長 阿 横 豊 阿 昆 菊
員 田 間 根 部 部 地 光 明

阿 横 豊 阿 昆 菊
部 田 間 根 部 部 地 光 明
幸 龍 吉 光 明
一 寿 信 衛 清 明

▼山田高校生徒の皆さんの3年間にわたる様々な活動の集大成としての高校生議会議会を、生徒の皆さんと共に、新鮮な感覚と緊張感をもって傍聴いたしました。それぞれの自立した思いをもって、しっかりとした目線で町の未来を見据えた町政全般への幅広い質問・提言、そして実現へ向けて補佐人との連携による、さらなる再質問等の発言、傍聴席においては共に活動してきた皆さんが、真剣なまなざしですっかりと、前を見据える姿に頼もしさを感じた次第です。これからもさらなる良き伝統を築き上げていただきたいと思っております。様々な試練を乗り越え、さらなるにぎやかな町創生への活躍を感じさせてください。すがすがしい議会議会でした。(豊間根信)

あ
と
が
き